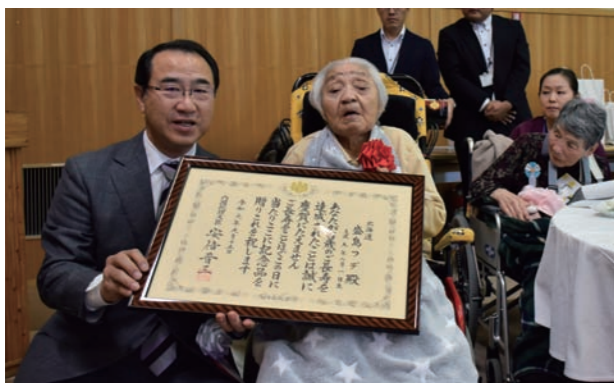


これからもますますお元気で  
町敬老会に261人が出席



令和元年度町敬老会が9月20日に総合福祉センターで行われました。今年度対象となる80歳以上の方は697人で、当日は261人が参加。100歳以上、90歳以上、米寿の方には記念品が贈呈されました。満100歳を迎える盛島フデさんには内閣総理大臣からの祝い状が宮坂町長から手渡され、盛島さんは「ありがたいことです」と感謝を述べました。

その後に行われた祝宴で、参加者は近況や思い出話に花を咲かせ楽しいひとときを過ごしていました。

地域おこし協力隊・農業支援員  
永島冬生さんに委嘱状を交付



地域おこし協力隊農業支援員に江別市出身の永島冬生さん(35歳)が着任し、9月2日に役場で委嘱状交付式が行われました。

永島さんはこれまで神奈川県や宮城県などの携帯電話販売店で接客業を経験。災害ボランティアとして町内の農家で作業を手伝ったことがきっかけで、農業を志しました。「これまで農業に携わったことがないので新たな挑戦になりますが、3年間でいろいろな知識を学んで、いずれは自分の強みが出せる農家になりたいです」と話していました。

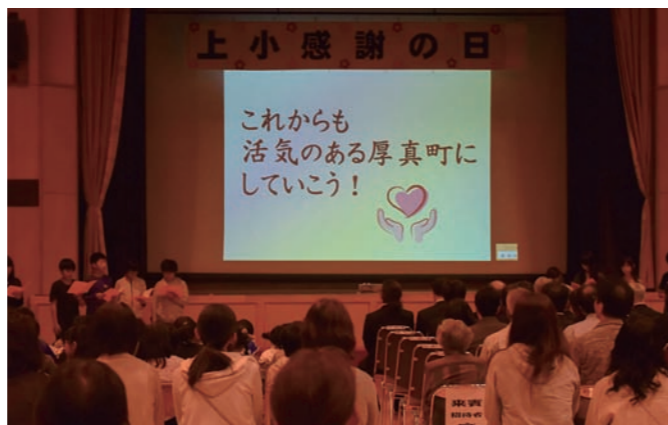
“ありがとう”の気持ちを伝えよう  
上厚真小学校開校120周年記念集会  
上小 感謝の日

9月19日、上厚真小学校(井内宏磨校長)で開校120周年を記念した集会「上小 感謝の日」が行われ、宮坂町長をはじめ同校の歴代校長やPTA会長、保護者ら約100人が参観しました。

同校は明治32年に浜厚真簡易教育所として開校し、6年後に厚真第四尋常小学校と改称。大正14年に浜厚真から現在の厚和地区に校舎を移転し、昭和56年に一度独立した浜厚真小学校、平成16年に鹿沼小学校、平成23年には富野小学校、軽舞小学校と統合。今年度からは厚南中学校と小中一貫教育の試行を開始しています。

会は児童が主体となり、学年ごとに映像や歌を交えながらお世話になった方や地域の方へ感謝の思いを発表。6年生は「ありがとう 厚真の名産品」をテーマに、町内の農家を訪問して調べた花やハスカップについて紹介し、生産者へのメッセージを発表したほか、町内の方と協力して作ったハスカップクッキーを来場者に配り感謝の気持ちを届けました。

折坂結望さん(6年生)は「これからも多くの人に感謝の思いを伝えていきたいです」と話していました。



厚真郷芸保存会が新曲を初披露  
和太鼓松村組 厚真町支援公演

神戸市を拠点に全国で活動する和太鼓松村組(松村公彦代表)の厚真町支援公演が9月15日に総合福祉センターで行われ、町内外から約400人が来場しました。

平成7年に発生した阪神・淡路大震災をきっかけに結成された同組は、厚真郷芸保存会(畑嶋安雄会長)出身のメンバーが在籍していることから、厚真町を元気づけたいと今回の無料公演を企画。

公演の第1部には同会が出演し、新曲「暁天の光」を初披露しました。この曲は同会が、これまでの支援に対する感謝を伝えたいと、松村代表に作曲を依頼したものです。同会で指導する畑嶋麻由美さん(46歳)は「これからも演奏を通して、震災のことを町外にも伝えていきたいです」と話していました。



厚真中学校開校30周年を記念して  
式典と記念発表会を開催



厚真中学校(阿部隆之校長)で9月26日、開校30周年記念式典が同校と開校30周年記念事業実行委員会(尾谷純司委員長)の共催により同校体育館で行われました。開校から30年を迎える昨年に実施する予定でしたが、地震により1年延期しての開催となりました。

阿部校長は「式典が開催できるよう力を尽くしていただいた関係する全ての方に感謝を申し上げます」と式辞を述べました。

式では、尾谷委員長と阿部校長から歴代校長と歴代PTA会長に、感謝状が手渡されました。また、生徒会が主体となって行った記念発表会では、全校生徒による「虹色の未来」の合唱と吹奏楽部による演奏が披露され、参加者から惜しめない拍手が送られていました。

同校は幌里、楢山、厚真中学校が統合し、厚真町北部地区統合中学校として平成元年に開校し、これまで1,069人の卒業生を送り出しています。



胆振東部地震災害復旧工事厚真町安全連絡協議会(塩田雅史会長)が9月17日から3日間、厚真市街地の通学路で、交通安全街頭啓発を行いました。

同協議会は町や北海道開発局、北海道などの災害復旧工事発注機関と、その受注業者で構成され、互いに連携して交通安全や住環境の保全、事故の防止などに努めることを目的に今年4月に発足。今回は延べ80人の会員が、厚真大橋の災害復旧工事でう回路となる通学路で「ゆっくり走ろう」などと書かれた旗やカードを掲げ、安全運転を呼びかけました。

塩田会長は「工事関係者には、やむを得ず通学路を通行する際はスピードを落とすよう連絡しています。通行される方はトラックが遅いと感じる場面もあるかもしれませんがご協力をお願いします」と話していました。

思いやりのある運転を  
安全協議会が交通安全運動

